

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	小林
	全体計画			経費区分	-	内線	3139
事務事業名	4042 広聴広報事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	07024000 情報発信、広聴・広報の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費					
	事業	030000 広聴広報事業					
事業目的				事業概要・効果			
視点に変化を加えて電子媒体をフル活用した、市民に分かりやすく親しみやすい情報発信。				公式ツイッター・フェイスブックへのアクセスが昨年度から増加傾向であり、公式SNSへの市民の関心が読み取れる。ホームページと組み合わせた同時配信をすることでより効果が期待できる。ドローンを活用した空撮映像も含め電子媒体をフル活用し、情報発信を進めていく。 広報須坂は写真を用いた表現力に力を注ぎ、読者の関心を集める。全戸配布をなるべく減らし広報須坂にシフトできるよう読みやすく親しみやすい文書づくりに努めていく。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
「広報すざか」などさまざまな市の広報媒体を活用するとともに、「いけいけすざか」との連携も強化し、情報発信を行った。 「地域づくり市民会議」などを行い、市民のさまざまな声を聞いた。	誰もが見やすいホームページにする。広報すざかやホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックの活用。「いけいけすざか」との連携強化。報道機関を通じた積極的な情報発信。Sコレ調査を行い、須坂に関するさまざまな声を聞き情報発信にも生かす。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
広報すざかやホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックを活用して情報発信する。また、「いけいけすざか」との連携を強化し、報道機関を介して積極的な情報発信する。	広報須坂やホームページ、SNS、FMぜんこうじ、メールマガジンなど広報に有効な媒体を活用した情報発信を進める。また動画の効果を最大限発揮した広報に努める。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
広報須坂やホームページ、SNS、FMぜんこうじ、メールマガジンなど広報に有効な媒体を活用した情報発信を進める。また動画の効果を最大限発揮した広報に努める。	記者会見やプレスリリースによるパブリシティの充実。さらに広報須坂やホームページ、SNS、FMぜんこうじ、メールマガジンなど広報に有効な媒体を活用した情報発信と併せて動画を有効に活用する。

指標名	「地域づくり市民会議」出席者数					単位	人
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標			43		45	
	実績			43			
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名	ホームページ閲覧件数					単位	件
算式	トップページを開いた回数					単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標			518,000		520,000	
	実績			433,908			
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標			2,400		3,000	
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和2年度 予 算
事業費		19,986	20,959
特定財源	国庫支出金	20	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	7,309	799
一般財源		12,657	20,160
人員数(人)	正規職員	2.5	2.5
	嘱託職員	1.3	1.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	18,162.5	18,162.5
	嘱託職員	3,677.7	3,677.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	21,840.2	21,840.2
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		41,826.2	42,799.2

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	27	市報モニター謝礼27
11節 需用費	9,259	広報須坂印刷8,765、季刊イベントチラシ印刷494、
13節 委託費	7,205	FMぜんこうじCM放送委託2,486、ホームページ保守2,538、その他2,181
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	84	長野県世論調査協会負担金60、広報協会負担金24
その他	3,411	広告料120、郵便料343、市報編集用機器賃借料136、その他2,812

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	36	市報モニター謝礼36
10節 需用費	9,744	広報須坂印刷9,700、NHKのど自慢抽選結果はがき44
12節 委託費	7,205	FMぜんこうじCM放送委託2,508、ホームページ保守3,012、メール配信システム移行924、その他761
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	84	長野県世論調査協会負担金60、広報協会負担金24
その他	3,890	広告料450、郵便料420、市報編集用機器賃借料138、その他2,882

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	昨年度の令和元年東日本台風の教訓とし、災害情報などの市民の命を守る情報は、迅速で正確な情報を如何に拡散し、市民に届けられるが広報の重要な役割である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民の立場に立って市民が関心を示す広報に心がけており、徐々にではあるが、その成果は見えてきているように感じている。 形としては掴みにくいですが、地道にコツコツと市民の立場にたった広報を心がけていきたい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	ホームページの保守更新作業は、ホームページへの新しいページのアップなど、できるだけ職員が操作し、委託経費を削減した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

工夫した広報須坂の編集により、見やすさ、分かりやすさ、表現力などが向上しており、市民モニターに高評価をいただいた。Webによる情報発信もホームページ、フェイスブック、ツイッターを活用し、特に令和元年東日本台風では多くのアクセスが集中し、これを基点に、アクセス数が向上した。
SNSの発信が少数の職員に限定され、情報が市民に十分に届いていないことが課題である。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>市民生活向上のための施策、命を守るための災害情報などをより多くの市民に伝わるよう環境整備が必要である。市報・ホームページに加え、職員誰もがSNSで発信できるようにしていく。</p>		<p>あらゆる手段を用いた、的確な情報発信が重要である。広報須坂は職員の創意工夫により、編集発行している。表紙の写真も評価が高い。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	